

東京都特殊疾病対策協議会腎不全対策部会  
(令和2年11月5日開催)

災害時における  
透析医療活動マニュアル  
(改訂版)  
(案)

令和2年 月改訂版

## 本マニュアルの改訂にあたって

都では、大規模地震災害等が発生した場合に、透析医療機関が迅速かつ的確な透析医療を行うための標準的な対応マニュアルとして、「災害時における透析医療活動マニュアル」を平成9年に作成し、平成13年、平成18年、平成26年の三度にわたり改訂を行ってきたところです。

これまでも、東京都区部災害時透析医療ネットワークと三多摩腎疾患治療医会災害時ネットワークが連携し、災害時の透析医療の確保に努めてきましたが、平成30年1月に東京都透析医会が発足し、都内の災害時透析医療ネットワークが一本化されました。また、平成30年の西日本豪雨や北海道胆振東部地震、令和元年秋の台風等相次ぐ大規模災害での経験を踏まえ、この度、災害時における透析医療体制の強化に向けてマニュアルを見直すこととしました。

今回の改訂では、東京都透析医会を中心とした透析医療機関の連絡体制の整理、避難所における透析患者への対応方針の明確化、透析用水の確保に向けた支援要請の流れを整理するなど、透析医療機関や区市町村等の関係機関が、透析患者へ適切な支援を行えるように記載内容を充実しました。また、東京都特殊疾病対策協議会腎不全対策部会（部会長：昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門 客員教授 秋澤 忠男氏）において、改訂内容を協議していただきました。

いつ発生するかわからない災害に対し、医療機関、区市町村等の関係機関が十分に備えておくとともに、患者自身も災害への意識を高めて準備することが必要です。本マニュアルがその一助になれば幸いです。

令和 年 月

東京都福祉保健局保健政策部長  
成田 友代

## 目 次

本マニュアルの改訂にあたって	1
第1章 災害時の透析医療確保に向けた対策	5
I 平常時の体制	6
1 災害時透析医療ネットワークについて	6
2 災害時透析医療ネットワークと関係機関の連絡体制	7
3 災害時透析医療ネットワークへのアクセスについて	7
4 <b>新型コロナウイルス感染症等への対応について</b>	<b>7</b>
II 都内で災害が発生した時の対応	8
1 東京都・災害時透析医療ネットワークの窓口	8
2 災害時における透析医療情報の流れ	8
3 透析医療機関と透析患者の間の連絡	10
4 透析患者の支援要請と受入調整	10
5 避難所における区市町村の対応	15
6 透析用水の支援要請の流れ	15
7 島しょ部における対応	16
(コラム) MCA 無線とは	14
【参考】 Tokyo DIEMAS について	16
III 都外へ支援要請する場合の対応	18
1 搬送患者の情報集約と提供	18
2 受入先自治体との調整	18
3 受入先医療機関等との調整	18
4 搬送体制の確保	18
5 宿泊施設等の確保と調整	19
(コラム) JHAT とは	20
IV 都外から透析患者の受入要請があった場合の対応	21
1 被災情報の収集等	21
2 受入人数及び患者状況の把握等	21
3 搬送に係る支援	21
4 宿泊施設の確保と調整	21

5	受入先医療機関の調整	21
	《参考》 首都直下地震等による東京都の被害想定	23
	参考様式1 災害時情報送信票	24
	参考様式2 透析患者個人票	25
	参考様式3 透析患者情報リスト	26
	<b>第2章 透析医療機関の災害対策マニュアル</b>	<b>27</b>
I	平常時からの準備等	28
1	災害対策委員会の設置	28
2	事業継続計画（BCP）の策定	28
3	災害対策マニュアルの作成	28
4	緊急時の施設内連絡網の整備	29
5	協力医療機関との連携	29
6	災害対策マニュアルによる定期的な自己点検等	29
7	防災訓練の実施	30
8	ライフラインの点検と対応について	30
9	透析装置等の転倒防止対策	30
10	緊急時対応物品等の整備と設置	31
11	医薬品・医療器材等の備蓄	31
12	要配慮者・避難行動要支援者への支援	31
13	災害時に備えた患者・家族への指導及び連絡の確保	32
14	腹膜透析（PD）患者への対応	32
	 (コラム) 東京都内における災害時の透析看護師の役割	 34
II	災害時の透析医療機関向け活動マニュアル	35
1	発災から透析医療機関の被災度の点検まで	35
	(1) 患者の安全確保	35
	(2) 患者等の緊急避難	35
	(3) 職員・家族等の安全確認	36
	(4) 建物・設備等の点検	36
2	被害情報の収集・伝達	37
	(1) 周辺被害状況の把握	37
	(2) ライフライン関連被害状況等の把握	37
	(3) 情報通信手段の確認	37
	(4) 透析可否の判断	37

(5) 災害時透析医療ネットワークへの連絡	38
3 透析医療の実施	40
(1) 透析可能な場合	40
(2) 透析が不可能な場合	40
(3) 医薬品等の補給	41
(4) 電気、水、燃料等の備え・供給停止時の対応	41
(5) 従事者への配慮	42
(6) 腹膜透析（PD）患者への対応	42
(7) 要介護透析患者への支援	42
Ⅲ 支援透析患者受入れマニュアル	43
1 支援透析患者受入れに向けた連絡調整	43
2 支援透析患者の受入体制の整備	43
3 支援透析患者の受入れ	43
第3章 透析患者用マニュアル（防災の手引）	45
I 災害に対する心得・対応	47
1 平常時の心得	47
2 透析を受けていない時に災害が起きた場合の心得	50
3 透析中に災害が起きた時の対応	51
II 腹膜透析（PD）を受けている方の留意点	52
1 日頃からの準備	52
2 腹膜透析液交換中、夜間腹膜透析中以外に災害が起きた時	52
3 腹膜透析液交換中、夜間腹膜透析中に災害が起きた時	53
4 避難した時	53
III 災害時の食事と薬の管理	55
1 食事の管理	55
2 薬の管理	57
【参考】 災害時透析患者カード（見本）	59

資料編